

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



防災
News
煙体験などで災害の怖さ知る
南小で防災体験フェスタ



煙体験をした子どもたちは、「全然前が見えない」、「息がしづらい」など声を上げていました

8月19日、南小学校で「安心・安全No.1 防災体験フェスタ」が行われました。同校児童や保護者、地域住民、自衛隊、消防署、消防団、防災士、警察など約150人が参加。教室に無害の煙を発生させ歩く火災時の模擬体験や消防、自衛隊の車両や機材の見学、ロープワークなどを通して、楽しみながら防災について学習しました。同校PTA会長の小坂健一さんは、「地域の防災力が高まることを期待しています」と話していました。



道路愛護デー
News
みんなで使う道路に感謝
市民総出で市道などを清掃

8月は「道路ふれあい月間」。市では、8月3日を「道路愛護デー」とし、市民協働で市内各地区の道路の清掃活動を行いました。自分たちの住むまちの道路を綺麗にしようと、市民ら1万1798人が参加。西町3区でも早朝6時から集まり、市道を中心にごみ拾いや草刈りなどを実施しました。同区の采女茂雄区長は、「割り当てられた道路以外にも、汚れていると率先して清掃してくれとても助かりました」と話していました。



地域の道路をみんなで清掃する様子。集めたごみの総重量は約10トンのでした



防犯
News
宮崎県遊技景品流通防犯協会が、
小林地区防犯協会へ活動支援金を寄附

県内182の遊技景品流通業者で構成される宮崎県遊技景品流通防犯協会が、8月20日、小林地区防犯協会（肥後正弘会長）へ活動支援金を贈りました。市役所応接室であった贈呈式には、同協会の会員や関係者など8人が出席。中村勝美小林支部長が、肥後会長へ支援金を手渡しました（=写真）。肥後会長は、「パソコンやスマートフォンの普及で、犯罪の質も変わってきている。青少

年の健全育成のため、有効に活用させていただきたい」とお礼を述べました。



協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

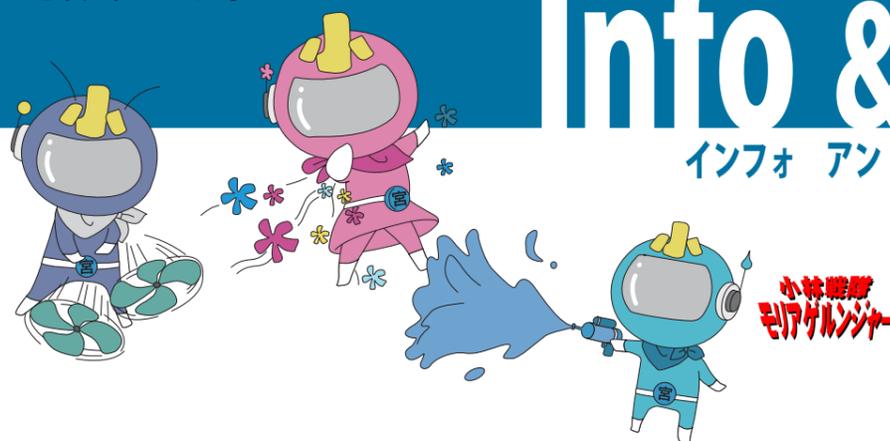
小林戦隊
リアゲルンジャー

も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 海蔵楓寧さんが（当時・永久津中3年生）小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



地域づくり
News
モデル地区上の原自治公民館
ラジオ体操などで世代間交流



上の原自治公民館では、世代を越えて、清掃活動、敬老会や健康づくりなどに取り組んでいます

本年度の「青少年育成・支援地域活動モデル事業（公益社団法人宮崎県青少年育成県民会議）」のモデル地区に指定されている上の原自治公民館（紙屋・山下一美館長）では、青少年の健全育成のため、さまざまな地域ぐるみの活動を行っています。夏休み期間中には、住民も参加しラジオ体操や空き缶回収などを実施。山下館長は「こういった活動を通して絆を深め、子どもたちを地域全体で守り育む環境になれば」と話していました。



高齢者・障がい者福祉
News
プルタブ約1.1トンを収集
南小児童ら社協へ車いす寄贈

南小学校の児童とPTAが空き缶のプルタブ約1.1トンを収集し、交換して得た車いす2台を、市社会福祉協議会に贈呈しました。7月18日、同校体育館であった贈呈式で6年生新竹優駿くんが代表し、「みんなで協力して集めました。この車いすが役に立つとうれしい」とあいさつ。社協の種子田與市会長は「皆さんの善意が、市民の心の支えになる」とお礼を述べました。寄贈された車いすは、無料で貸し出しを行っています。



南小では2001年からこのプルタブ収集活動を開始。車いすの寄贈は今回で、2回目となります